

教材活用シリーズ 第147回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介いたします。

二種類のプリントで学力の定着を図り、
全観点の評価ができる！

(株)新学社
『Wプリント』
(中学1～3年生用 5教科)



(株)新学社
クリエイティブ編集センター

1. 発刊の経緯

新学社では、指導と評価の一体化を目指し、すべての観点の観点別評価ができる単元プリントとして、平成28年度から『Wプリント』を発売しています。A4判の「評価プリント」と、「評価プリント」の同一・類似問題で構成したB5判の「確認プリント」を組み合わせた教材です。判の「確認プリント」を単元テストとして実施する前後に、「確認プリント」を予習または復習として使用することを想定して制作しました。令和3年度版からは、「主体的に学習に取り組む態度」を含む新観点の評価に対応しています。

2. 内容・構成

教師用ROM	確認プリント	評価プリント
教師用資料や観点別自動集計ソフト、補充プリント等を収録。	B5判両面。「評価プリント」と同じ範囲で同じ回数、同一または類似問題で構成。一大問一観点で「主体的に学習に取り組む態度」以外の問題を出題。標準実施時間10分。	A4判両面8〜12回。一大問一観点で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点の問題を出題。標準実施時間30分。

Wプリント 学習の計画と記録

学習の計画		学習の記録	
単元	学習日	計画	記録
A4判 Wプリント	月 日		
	月 日		
B5判 Wプリント	月 日		
	月 日		

▲「学習の計画と記録」の例。

3. 本誌+「学習の計画と記録」で「主体的に学習に取り組む態度」の二つの側面を評価

『Wプリント』は、全観点が評価できるプリントというコンセプトのため、令和3年度版からは「主体的に学習に取り組む態度」を含む新観点の評価ができるよう改訂しました。「主体的に学習に取り組む態度」は、

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行うおうとする側面
- ② 粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

の二つの側面から評価することとされていますが、『Wプリント』では、本誌に掲載している問題で①の側面をはかり、さらに、教師用ROMに収録している「学習の計画と記録」の記入内容で②の側面をはかる、という仕組みになっています。

4. 充実の教師用付録

教師用付録として、「学習の計画と記録」のほか、本誌の「主体的に学習に取り組む態度」の問題の評価例や補充問題、観点別自動集計ソフトなどをご用意しています。

観点別自動集計ソフトは、以前はエクセルに得点を入力していただく形式のみでしたが、令和3年度版からは新たに、解答用紙をスキャナーで読み取り、読み取った○×の情報を自動でソフト内に取り込んで集計し、各種成績資料が作成できるソフトをご提供しています。当初は読み取り精度が低く、ソフトの不具合もありませんでしたが、令和3年度2学期より読み取り精度が大幅に向上し、ご採用校にてご利用いただいております。

▲観点別自動集計ソフトで生成される「小問別集計表」の例。
小問ごとの得点率が算出されるので、指導改善にいかせる。

5. ご採用校での活用事例

●活用事例1

単元末に「評価プリント」を実施。定期テスト前に復習として「確認プリント」を宿題に。

- ① 〈テスト〉単元の学習が終わったら「評価プリント」を授業中に実施する。
- ② 〈評価〉採点結果をソフトに取り込み返却。
- ③ 〈復習〉定期テスト前にテスト範囲の「確認プリント」を配布し、テスト勉強に活用。

○先生のお声○

時間において同じ単元の類似問題に取り組めるので、学力の定着が図れます。

●活用事例2

単元末に「評価プリント」を宿題に、「確認プリント」を単元テストとして実施。

- ① 〈宿題〉単元の学習が終わったら「評価プリント」を宿題として配布。
- ② 〈テスト〉次の授業で「確認プリント」を8〜10分程度で実施。
- ③ 〈評価〉採点結果をソフトに取り込み返却。

○先生のお声○

「確認プリント」の分量だと10分以内で実施できるため、授業の予定に組み込みやすいです。

●活用事例3

「確認プリント」を学習に、「評価プリント」を単元テストとして実施。

- ① あらかじめ、年間の学習予定を生徒に配布。
- ② 〈宿題〉①の年間予定にそって、単元テストに向け、ワークブックや「確認プリント」で各自勉強しておくように指導する。
- ③ 〈テスト〉「評価プリント」による単元テストを、授業中に30〜40分で実施。
- ④ 〈評価〉採点結果をソフトに取り込み返却。

※単元テストのタイミニングで、ワークブックやファイル点検も行う。

○先生のお声○

年間予定を先に示しておくことで、毎回指示する必要もなく、生徒も見通しをもって計画的に学習に取り組んでいます。

6. おわりに

このように、学校ごとに、より使いやすく効果的な順番・役割で各パーツをお使いいただけるのが『Wプリント』の特長です。

二つのプリントを組み合わせてご使用いただくことで、苦手の発見、学力の定着につながることを願っています。